

ISSEY MIYAKE

JY020
JY020A

取扱説明書

Instruction

**この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、
お願い申し上げます。**

**なお、この説明書はお手元に保管し、
必要に応じてご覧ください。**

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。

お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次

製品取扱上のご注意	4
メカニカルウォッチの特長（手巻、自動巻）	8
りゅうずについて	9
ぜんまいの巻きかた	10
各部の名称と主なはたらき（8R48）	11
時刻・日付の合わせかた（8R48）	12
■時刻・日付の合わせかた	12
■月末の日付修正について	15
クロノグラフについて（8R48）	16
■クロノグラフについて	16
【普通の使いかた】	17
【時間計測を積算で行う場合】	18
■ストップウォッチ分針の読みかた	20
各部の名称（NE15）	21
ご使用方法（NE15）	22
■時刻・日付けの合わせ方	22
■月末の日付修正について	26
各部の名称（NH36）	27

時刻・日付・曜日の合わせかた（NH36）	28
■時刻・日付・曜日の合わせかた	28
■月末の日付修正について	30
耐磁性能について（磁気の影響）	31
時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例	32
お手入れについて	33
防水性能について	34
バンドについて	36
皮革バンド用三つ折れ式中留（なかどめ）の使いかた A	39
■着脱のしかた	39
■バンドの長さを調節するには	40
皮革バンド用三つ折れ式中留（なかどめ）の使いかた B	41
ルミブライトについて	42
アフターサービスについて	43
こんなときには	45
メカニカルウォッチの精度について	46
製品仕様	48

製品取扱上のご注意

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出てきた場合
- ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

・以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ
(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ
- 磁気や静電気の影響があるところ
- 強い振動のあるところ
- 高湿度なところ
- ホコリの多いところ

・アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

・その他のご注意

- 金属バンドの調整は専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
手や指などにけがをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようご注意ください。
けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

⚠ 警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。
専用のダイバースウオッチをご使用ください。

⚠ 注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

⚠ 注意



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

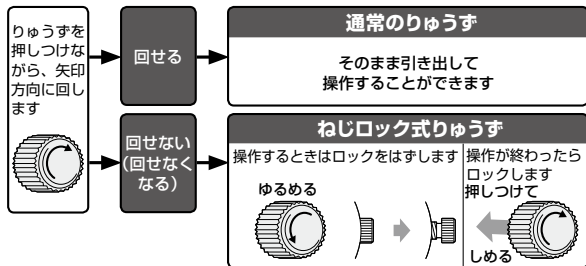
メカニカルウォッチの特長(手巻、自動巻)

- ・この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- ・止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを 20 回手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- ・精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ・さらに、ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等）によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。

お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

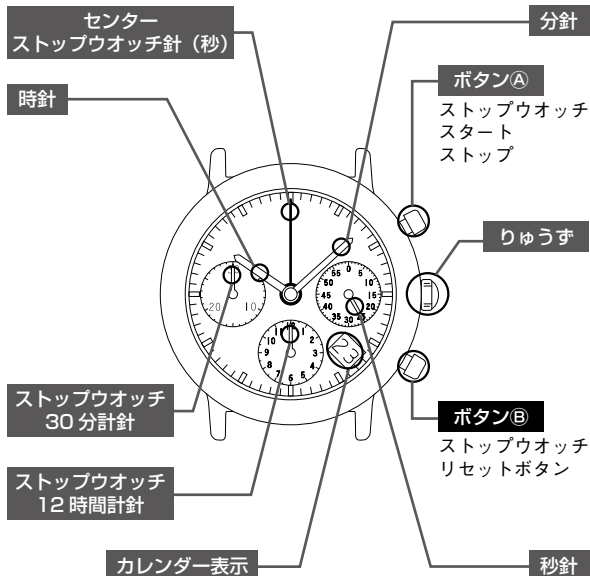
ぜんまいの巻きかた

- この時計は、自動巻式機械時計（手巻つき）です。
- ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くこともできます。
- 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずをまわしぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付けと時刻とを合わせてから腕にお付けください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず0段位置で右回転方向（12時方向）にゆっくりと回してください。なお、りゅうずは左方向（6時方向）では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻き上げ状態でぜんまいがスリップするようになっており、ぜんまいを切る心配はありません。
- ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は以下の通りです。

	NE15	8R48	NH36
約50時間	○		
約45時間		○	
約41時間			○

- ※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをお勧めします。また、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずをまわしぜんまいを十分に巻いてご使用ください。
- ※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク（力）が弱いからです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振りてんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

各部の名称と主なはたらき（8R48）



時刻・日付の合わせかた (8R48)

■時刻・日付の合わせかた

この時計には、日付表示機能がついています。24 時間に 1 回日付を一日分送るようになっています。

日付は、「午前 0 時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12」時ごろに日付が変わってしまいます。



ご注意

- 時刻表示が午後 8 時から午前 2 時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

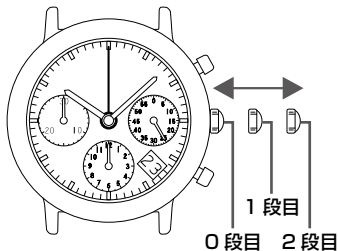
- 1 りゅうずを 1 段目まで引き出してください。
- 2 りゅうずを回転することで日付の修正ができます。
前の日の日付に合わせます。

【例】合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。
りゅうず左回転（下方向）に回すことで日付合わせが行えます。

- 3 りゅうずを 2 段目まで引き出します。
秒針が「12 時」の位置にきたときに引き出してください。
(秒針が止まります。)
りゅうずを回転させ、針が進む方向に回し、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。

4 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL. 117 が便利です。



⚠️ ご注意

- 当ムーブメントは輪列機構上から時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

■月末の日付修正について

2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを右回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。なお、日付を進みさせ過ぎた場合には、さらにりゅうずを回転させ「1日」に合わせ直してください。

⚠️ ご注意

- 時計の針が午後8時から午前2時の間にあるときは、日修正は避けてください。故障の原因になります。

クロノグラフについて (8R48)

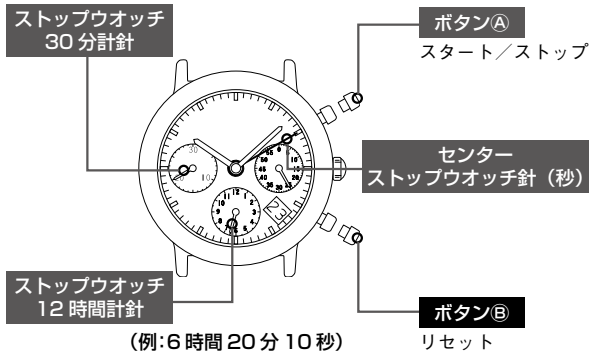
■クロノグラフについて

最大 12 時間まで計測可能です。

※クロノグラフとは、ストップウォッチ機能と時刻表示機能を合わせ持った機能のことです。
※ストップウォッチ作動時には、りゅうずを 2 段目に引き出し、針廻しをしないでください。

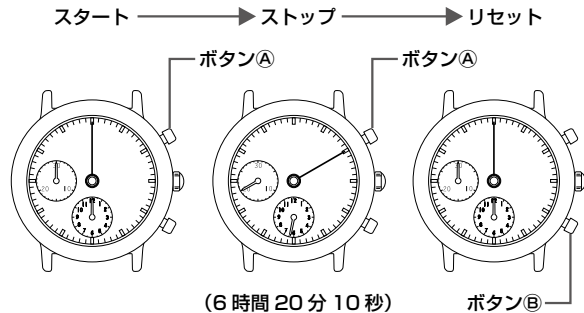
※使い始めには、センターストップウォッチ針が 0 位置に合っているか確認してください。合っていないときは、ボタン③を押してリセットしてください。

※ストップウォッチ機能の使い始めには、ぜんまいの巻き上げが充分であることを確認してください。



【普通の使いかた】

ボタンを押す順序：①→①→③



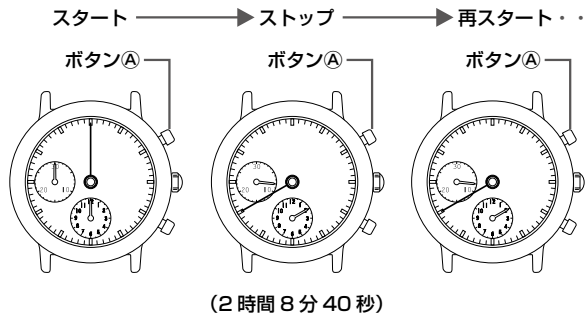
・ボタン①を押すとセンターストップウォッチ針 (秒) が動き始めます。

・計測したいタイミングでボタン①を押すとストップウォッチ針が止まります。

・ボタン③を押すとすべてのストップウォッチ針が元の位置に戻ります。

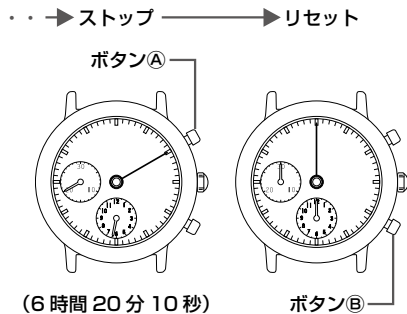
【時間計測を積算で行う場合】

ボタンを押す順序：A→A→・・・→A→A→B



・ボタンAを押すとセンターストップウオッチ針（秒）が動き始めます。

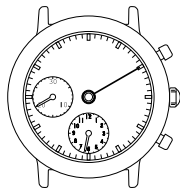
・計測中に何度もボタンAを押すことで繰り返しストップウオッチ針を動かすことができます。



・ボタンAでストップウオッチ針を止めた後、ボタンBを押して0の位置へ針を戻します。

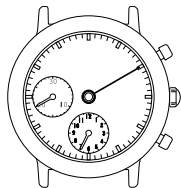
■ストップウォッチ分針の読みかた

ストップウォッチ分針は30分で1周します。ストップウォッチ時針の位置によって読み方が変わりますので、ご注意ください。



(0分から29分の場合)

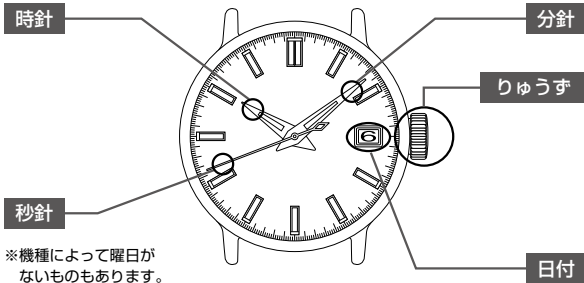
ストップウォッチ時針が短い目盛り(0.5時間目盛り)の手前の位置にあるため、ストップウォッチ分針目盛り値をそのまま読み、6時間20分10秒経過と読みます。



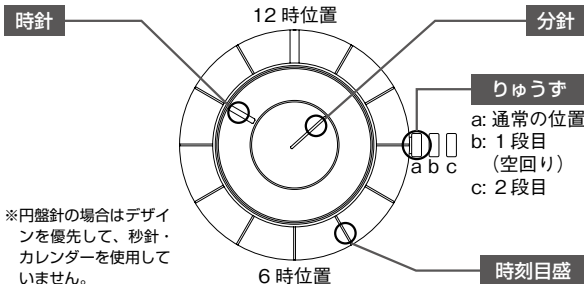
(30分から59分の場合)

ストップウォッチ時針が短い目盛り(0.5時間目盛り)を過ぎた位置にあるため、ストップウォッチ分針目盛り値に30分足して6時間50分10秒経過と読みます。

各部の名称 (NE15)



※機種によって曜日が
ないものもあります。



※円盤針の場合はデザインを優先して、秒針・カレンダーを使用していません。

ご使用方法 (NE15)

■時刻・日付の合わせ方

この時計には、日付表示機能がついています。24 時間に 1 回日付を一日分送るようになっています。

日付は、「午前 0 時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12」時ごろに日付が変わってしまいます。

⚠️ ご注意

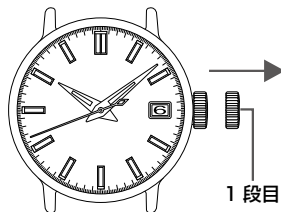
○時刻表示が午後 9 時から午前 1 時までの間、日付の修正をしないでください。

この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

1 りゅうずを 1 段目まで引き出してください。
りゅうずを回転することで日付の修正ができます。
前の日の日付に合わせます。

2 時報と同時にりゅうずを 0 段まで押し込むと動き出します。

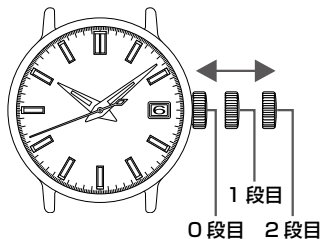
【例】合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。
左回転（6 時方向）に回すことで日付合わせが行えます。



3 りゅうずを2段目まで引き出します。
秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。(秒針が止まります。)

りゅうずを回転させ、針が進む方向にまわし、日付が今日の日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。

4 時報と同時にりゅうずを0段目まで押し込むと動き出します。
※時刻合わせは電話の時報サービス TEL.117 が便利です。



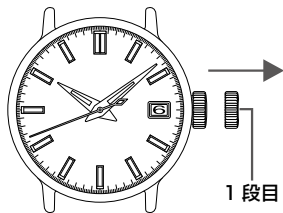
⚠ ご注意

○当キャリバーは輪列機構上から時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

■月末の日付修正について

2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

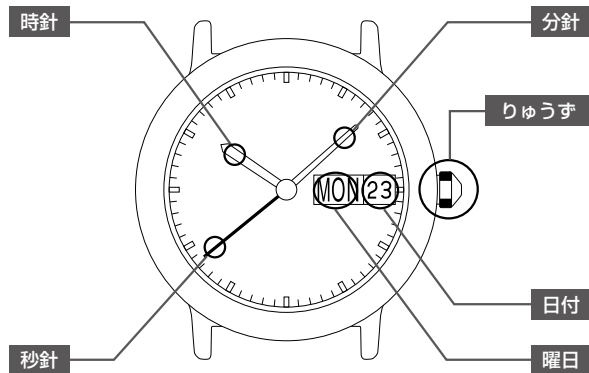
【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合
「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



⚠️ ご注意

○時刻表示が午後9時から午前1時までの間、日修正は避けてください。故障の原因になります。

各部の名称 (NH36)



※モデルによって目盛りなどのデザインは異なります。

時刻・日付・曜日の合わせかた(NH36)

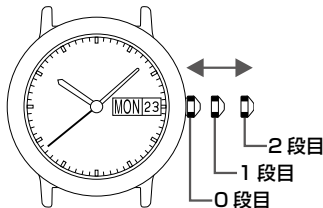
この時計は、日付、曜日表示機能がついています。日付は「午前0時」ごろ送り終わるようになっていました。また曜日は「午前4時」ごろ送り終わります。

よって午前午後をまちがえて時刻合わせをしますと、日付はお昼の「12時」ごろ、曜日は「午後4時」ごろに変わってしまいます。

■時刻・日付・曜日の合わせかた

- 1 りゅうずを1段目に引き出してください。
- 2 りゅうずを回転させることで日付、曜日の修正ができます。合わせたい日付・曜日の前日に合わせます。りゅうず右回転で曜日が変わり、左回転で日付が変わります。また曜日が二カ国語表示(バイリンガル)モデルの場合には、ご使用したい曜文字を選んで合わせてください。

【例】合わせる日付が「6日」の場合、「5日」に合わせます。



- 3 秒針が「12時」の位置にきたときにりゅうずを2段目まで引き出して下さい。(秒針が止まります。)りゅうずを回転させ、針を進み方向にまわし、日付が合わせたい日付になるまでまわしてください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の曜日、時刻に合わせます。

- 4 時報と同時にりゅうずを0段目に押し込むと動き出します。
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。

■月末の日付修正について

2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

【例】小の月の翌日1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを一段目に引き出してください。


りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。

⚠️ ご注意

- 時刻表示が午後9時から午前4時までの間、日付、曜日の修正はしないでください。この時刻に日付、曜日を修正しますと、翌日になっても日付、曜日が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

耐磁性能について（磁気の影響）

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より5 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS1種)
	
	磁気製品より1 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS2種)

この時計は、強い磁気を受けると時刻のずれを生じる場合があります。一度磁気の影響を受けると磁気から遠ざけても時計に磁気が残り、後々まで精度に影響を及ぼすことがあります。この場合は、修理にお出しください。また、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁力の影響を受けません。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話
(スピーカー部)



ACアダプター



バッグ
(磁石の止めがね)



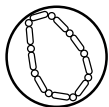
交流電気
かみそり



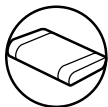
電磁調理器



携帯ラジオ
(スピーカー部)



磁気ネックレス



磁気健康枕

お手入れについて

■日ごろからこまめにお手入れしてください。


- ・りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。
※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。

■りゅうずは時々回してください。

- ・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を
下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。  警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で10 (20) 気圧防水です。	空気ポンペを使用しないスキンドIVINGに使用できます。

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。

長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

■金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

■皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

■ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

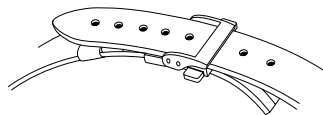
皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた A

■かぶれやアレルギーについて

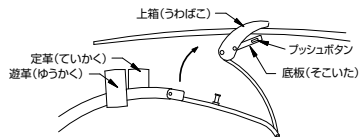
バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

■バンドサイズのめやすについて

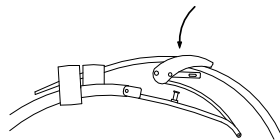
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



■着脱のしかた

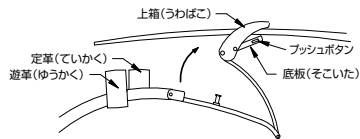


- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。

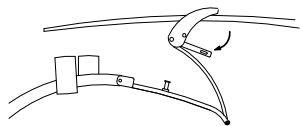


- ② バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。

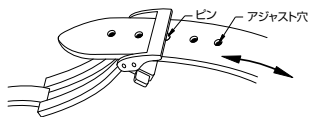
■バンドの長さを調節するには



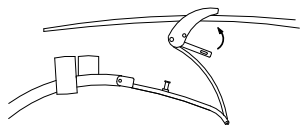
- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。



- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。

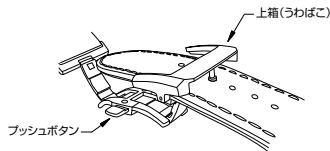


- ④ 底板を閉めます。

皮革バンド用三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた B



- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② バンドの剣先(先端)を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえて留めます。

ルミブライツについて

お買い上げの時計がルミブライツつきの場合

ルミブライツは、太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間：500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～ 5 時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。

なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライツの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）

※ルミブライツは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

環境	明るさ（照度）のめやす	
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内 （昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 （白色蛍光灯40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

アフターサービスについて

■保証と修理について

- ・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

■補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常 7 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。
 - ・この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にご購入後2年～3年目の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時刻の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
- 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、ご購入店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	ぜんまいが巻かれていない。	ぜんまいを手で巻くか、または数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。
	磁気を発生するものそばに置いた。	精度は、磁気の発生するものから放せば元にもどります。元にもどらない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。	精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる。	3年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	お買い上げ店にご相談ください。
	時刻合わせが違っている。	12時間分、針を進めてください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店、またはお客様相談室にご相談ください。

メカニカルウォッチの精度について

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢（向き）によって、進み／遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件（携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など）により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。
- 精度の温度差
 - ・メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

●ぜんまいの巻き具合と精度

精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするてんぷに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱいに巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっていきます。

自動巻き式は頻繁に携帯していただく事で、また手巻き式はぜんまいを毎日一回一定の時刻に十分に巻き上げて規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。

**この度は弊社製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、
お願い申し上げます。**

**なお、この説明書はお手元に保管し、
必要に応じてご覧ください。**

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。

お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

NE15・NH36・8R48

BNJY020/BNJY020A-1612

セイコーウォッチ株式会社
<http://www.seiko-watch.co.jp/>